

製品安全対策優良企業表彰説明会

JASPAの安全安心活動



日本福祉用具・生活支援用具協会(JASPA)
安全安心部会 部会長 三浦正二

「日本福祉用具・生活支援用具協会」(JASPA) Japan Assistive Products Association

- 設立:平成15年4月(前身団体平成8年)
- 会員:125(正会員85社)
- 構成:福祉用具メーカー(約90%)・輸入販売事業者・流通

主な活動

- ①福祉用具のJIS・ISO審議団体として、福祉用具の標準化や安全性等の策定。
- ②福祉用具の評価や安全・安心に関する情報の収集・事故対応策等についての検討
- ③介護保険制度・福祉関係法令・建築基準法・税制等の制度に関する提言

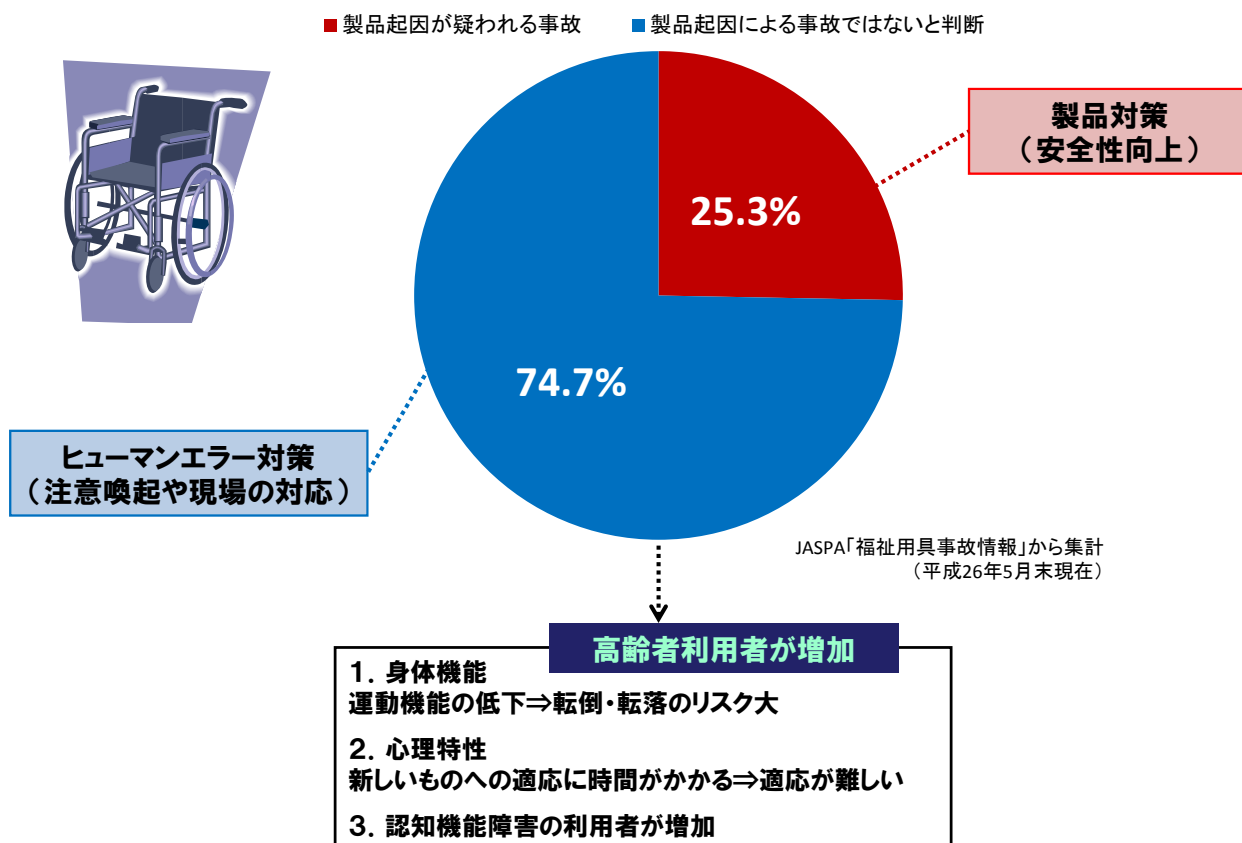
品目別部会

車いす・姿勢保持部会	段差解消機部会
義肢装具部会	入浴・排泄部会
歩行器・歩行補助器部会	床ずれ防止用具部会
電動車いす部会	情報機器部会
ベッド部会	手すり部会
リフト部会	

機能別部会

広報部会	国際交流部会
調査部会	企画事業部会
標準化部会	研修部会
流通部会	安全安心部会

福祉用具重大事故原因（原因判明分）



安全安心部会

【目的】

福祉用具を安全安心に利用頂くために、様々なシステムを構築・実践し、医療・介護の向上に貢献する

部会設立：平成19年7月

会員構成	会員数
福祉用具メーカー	20社(68.9%)
福祉用具輸入事業者	2社(6.8%)
福祉用具レンタル卸事業者	1社(3.4%)
流通事業者	4社(13.7%)
その他(損保会社、財団)	2社(6.8%)
合計	29社

1. 福祉用具の規格化・基準化の推進

- ・介護保険対象機器のJIS化推進
- ・日中韓福祉用具の国際基準の標準化



2. 安全レベルの向上を目指した業界ガイドライン等の策定

- ・福祉用具の取扱説明書作成のガイドライン
- ・品質に関するマネジメントシステムの策定と講習会の実施

3. 幅広い福祉用具関係者に対する安全情報提供

- ・利用者、流通事業者、ケアマネジャー、セラピスト対象のセミナー実施
- ・政府機関公表の福祉用具に関連する製品事故情報と品目別注意喚起ツール作成

5

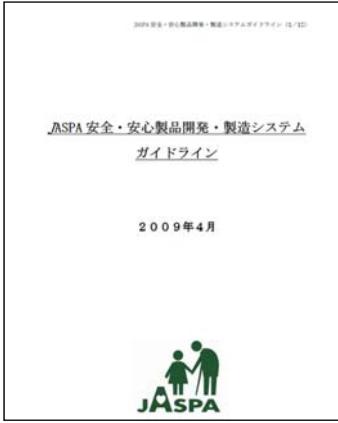
1. 福祉用具の規格化・基準化

介護保険制度の福祉用具対象種目	
貸与(レンタル)種目	販売対象種目
車いす	腰掛便座
車いす付属品	自動排泄処理装置(交換可動部品)
特殊寝台	入浴補助用具
特殊寝台付属品	簡易浴槽
床ずれ防止用具	移動用リフトのつり具
体位変換機	
手すり	
スロープ	
歩行器	
歩行補助杖	
認知症徘徊感知器	
移動用リフト(つり具除く)	
自動排泄処理装置	



6

2. 安全レベルの向上を目指した業界ガイドライン等の策定



JASPA安全安心製品開発・製造システムガイドライン (JASDS)
「安全で顧客にとって魅力ある品質を持つ福祉用具」
提供するための「開発企画」～「量産」プロセス



福祉用具の安全品質マネジメントシステム (JASQM) P250
「安全で顧客にとって魅力ある品質を持つ福祉用具」
提供するための「品質マネジメントシステム」

2. 安全レベルの向上を目指した業界ガイドライン等の策定

福祉用具取扱説明書ガイドライン

日本福祉用具・生活支援用具協会 (JASPA)
安全安心部会

目 次

1. ガイドラインの目的	2
2. 取扱説明書	2
3. 用語の定義	2
4. 取扱説明書作成の原則	3
4-1 正しく、快適に利用するために	
4-2 安全に利用するために	
5. 取扱説明書記載事項	4
5-1 読みやすさ (JIS S 0137 7.2)	
5-2 色	
5-3 記載項目の詳細	5
(1) 製品分類	～別表 1
(2) 製品名	～別表 1
(3) 型式・型番	～別表 1
(4) お願い	～別表 1
(5) 目次 (JIS S 0137 7.11)	～別表 2
(6) 写真またはイラスト (JIS S 0137 7.7)	～別表 1
(7) 安全事項	～別表 4
(8) 機能と性能	～別表 5
(9) 設置・組立てと付帯工事	～別表 6
(10) 使い方	～別表 7
(11) 適合調整方法	～別表 5, 10
(12) 保守・整備	～別表 9
(13) トラブルへの対応	～別表 9
(14) 改造	～別表 9
(15) 廃棄または撤去の方法と注意	～別表 12, 13
(16) 保証とアフターサービス	～別表 15, 18
5-4 記載事項別表	～別表 11



- 1.利用者・家族**
2.流通事業者
3.ケアマネージャー
理学療法士・作業療法士等

3. 幅広い福祉用具関係者に対する安全情報提供

- 【セミナー活動】
- 国際福祉機器展(東京) バリアフリー展(大阪)
 - 利用者、流通事業者、ケアマネージャー、セラピスト、医療・介護関係の学生

福祉用具に潜む危険 ～安全安心にお使いいただくために～



医療関係者になり患者さんに関わる時に、車いすなどを用いてのリハビリを行う時、気をつけなければいけないと改めて思いました。(学生)

幅広い福祉用具関係者に対する安全情報提供

情報発信

ホームページ「事故情報」
福祉用具重大事故情報掲載
品目別注意喚起情報掲載

日本福祉用具・生活支援用具協会
Japan Assistive Products Association (JASPA)

ホーム > 事故情報

福祉用具に関する重大事故情報の速報 (消費者庁公表)
消費者生活用製品安全法及び消費者安全法などの規定に基づき、消費者庁に報告のあった重大事故のうち、福祉用具関連のみを抜粋して掲載しています。

平成26年06月02日更新

- 重大製品事故であって、製品起因が疑われる事故
事故情報は [こちら](#)
- 重大製品事故であって、製品起因が否か特定できない事故
事故情報は [こちら](#)
- 原因究明調査を行ったが、製品に起因して生じた事故かどうか不明であると判断した事故
事故情報は [こちら](#)
- 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、第三者判定委員会において審議を予定している案件
事故情報は [こちら](#)
- 製品起因による事故ではないと判断した事故
事故情報は [こちら](#)
- 重大事故ではなかった事故
事故情報は [こちら](#)
- 重大事故集計
事故情報は [こちら](#)

独立行政法人製品評価技術基盤機構 (NITE) 公表

電源を使用する福祉用具の
停電時の対応について

安全にご利用いただくために

- 動画: 医療・介護ベッドに潜む危険 [こちら](#)
- 動画: 電動車いす安全運
- 医療・介護ベッド
- 医療・介護ベッド安全点検
- 「介護ベッド」ここが危険
- ベッド類ではなされ事故
- 電動車いす
- 電動車いすの使用上の注
- 車いす
- 車いすの使い方

- ①介護ベッド
- ②電動車いす
- ③車いす
- ④床ずれ防止用具
- ⑤介護リフト
- ⑥据置・突っ張り型手すり

山形県
Yamagata Prefecture

現在の県庁・県庁・健康・福祉・子育て・高齢者・介護事業者向け・福祉用具等の使用の際の重大製品事故について (H25.5.27更新)

福祉用具等の使用の際の重大製品事故について

福祉用具等の重大事故に係る公表について

標記について、経済産業省が公表を行い、厚生労働省から注意喚起の連絡がありました。各介護サービス事業者の方は、利用者の身体状況等に応じて福祉用具が適切に選定・使用されるよう、継続的な使用状況の確認等、安全性を確保する措置を講じていただきますよう御理解・御協力をお願いいたします。

なお、介護サービス事業者の方は、サービス提供中に事故が発生した場合は、運営基準において市町村や当該利用者の家族、居宅介護支援事業所等に連絡し、必要な措置を講ずると共に、採った処置について記録しなければなりません。また、賠償すべき事故の場合は、損害賠償を速やかに行うことも必要ですので御留意願います。

(参考) 経済産業省公表資料掲載ホームページ ※平成24年4月以降公表ははこちらからご覧ください。

日本福祉用具・生活支援用具協会ホームページ(事故情報)

基本活動

・JASPA事務局(東京都港区)において、
『WG(ワーキンググループ)1～3』と『安全安心部会』を隔月開催



WG1～3



各WG報告
及び議論



部会



製品安全対策優良企業表彰を知るきっかけ

「2013年3月8日 JASPA研修会」

—事例で学ぶ—
「製品安全対策」と「独自性の構築」

第1部 製品安全対策を優良企業に学ぶ

「製品安全とUDIに対する取り組み」 13:40～14:40

株式会社バンダイ プロダクト保証部

品質マネジメントチーム

経済産業省製品安全対策優良企業表彰

2012年「経済産業大臣賞」受賞

動機

「活動内容を第三者に客観的に評価してもらいたい」

➡ 評価が高い→活動の確信につながる→推進力
評価が低い→活動の改善につなげられる

準備

特別の準備はなく、今までの活動内容をありのままに答える

→活動内容を分かりやすく伝えよう

→今までの活動内容の整理が出来た

テンション

応募したというだけで部会員のテンションが上がった

反響

・業界紙からの取材依頼

・日本最大の福祉機器展示会「国際福祉機器展(HCR)」
(平成26年10月1日～3日 東京ビックサイト)

→「JASPAブース」でロゴを活用し大々的にアピール予定

部会員のモチベーション向上

ある部会員のFacebookより

「JASPA安全安心部会員として、この受賞に少しでも関わることができて、誇りに思っています。これからも業界全体で安全な福祉用具を提供する仕組みづくりに寄与していきたいと思っています。関係者のみなさん、よろしく！」